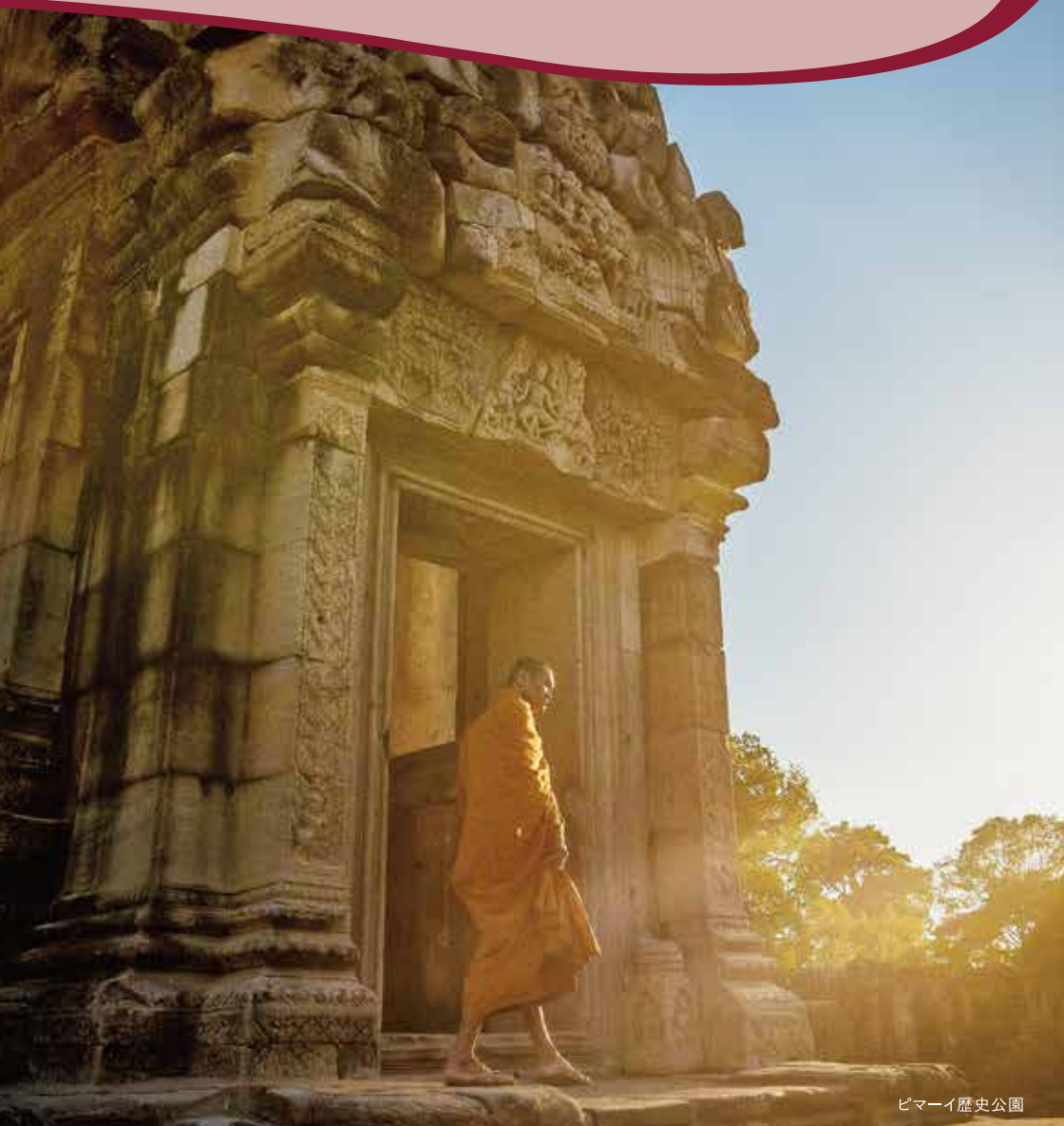




タイ東北部 (イサーン)

Northeastern (I-san)



大いなるメコンの流れ 悠久の時を見つめてきた遺跡

I-san

NORTHEAST THAILAND

タイ東北部はこんなところ

なだらかな高原地帯が広がるタイ東北部は「イサーン」と呼ばれ、国土面積の3分の1を占める広大なエリアに20の県を有しています。ラオスとカンボジアに接するこのエリアは数々の遺跡が残り、古代の栄華を今に伝えています。シルクや伝統工芸、賑やかで楽しい祭りの数々、そして現地に出会う人々の笑顔にタイの原風景を見ることができるでしょう。

アクセス

広大な東北地方へはバンコクからバス、鉄道、飛行機とさまざまな手段でアクセスできます。イサーンは大きく南部と北部に分けられ、南の玄関口であるナコンラーチャシーマー県まではバンコクから車で約3時間。プーケットやチェンマイからはそこから車で行くのが便利。一方、北部の国境地帯からメコン川にかかる橋を渡って、ラオスのビエンチャンを訪れることもできます。のどかな風景に触れながら、ゆったりとイサーンの旅をお楽しみください。

■ バンコクからの主なアクセス

鉄道：クルンテープ・アピワット中央駅から東北線ナコンラーチャシーマー駅で北方面のノンカイ行きと東方面のウボンラーチャターニー行きに分岐
長距離バス：北バスターミナルから各地行きバスが運行
飛行機：スワンナプーム国際空港(タイ国際航空など)とドンムアン国際空港(LCC各社)からイサーン8県に直行便が運航(約1時間)

🚆 鉄道 ———— www.thailandtravel.or.jp/about/trafficthai/ (タイ語・英語)

🚌 バス ———— www.transport.co.th/ (英語)

✈️ タイ国際航空 ———— www.thaiairways.com/ (英語)

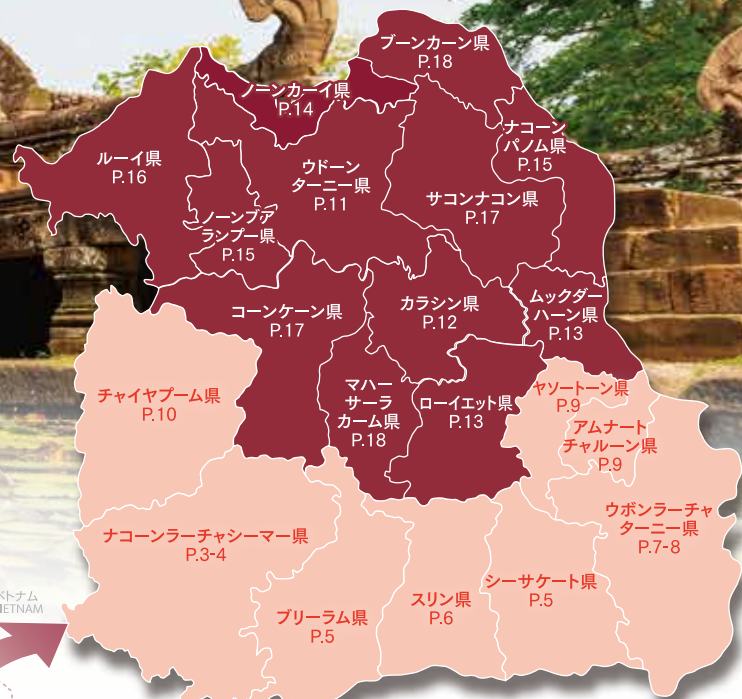
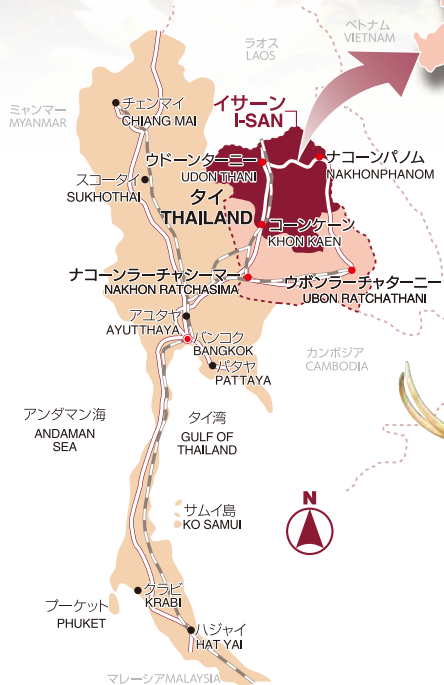
✈️ ノックエア ———— www.nokair.com/ (英語)

✈️ タイ・エアアジア ———— www.airasia.com/ja/jp/ (日本語)

✈️ タイ・ベトジェットエア ———— www.vietjetair.com/ja/ (日本語)



タイ国内の主な交通



CONTENTS

P. 1 ~ 2	概要
P. 3 ~ 10	南イサーン
P. 11 ~ 18	北イサーン
P. 19 ~ 20	歴史
P. 21	グルメ
P. 22	アクティビティ
P. 23	エコツアー・ショッピング
P. 24	世界遺産
P. 25 ~ 26	基本情報
巻末	MAP(イベントカレンダー)

マークの説明

世界遺産	国立公園
遺跡	寺院
博物館	



Nakhon Ratchasima
南イサーン

ナコーンラーチャシーマー県(コラート)

バンコクから
約260km
約4時間
約4~5時間



ピマイ歴史公園

Phimai Historical Park

タイの東北部で最も有名な寺院で、数あるクメール遺跡の中でも珍しいアンコールワット様式。いつ誰が何のために建てたのかは定かではありませんが、アンコールワット完成以前に建てられたという説もあります。昔はクメール帝国の首都アンコールまで一直線に道が通じていたことから、ここがクメールの宗教的・行政的な中心地だったことが分かります。入り口には国立博物館もあり、古代クメールやタワラワディー時代の美術品を展示しています。

ピマイ歴史公園 開7:30~17:30 料100B
国立博物館 開9:00~16:00 料100B

11月
ピマイ・
フェスティバル
週末イベントカレンダー



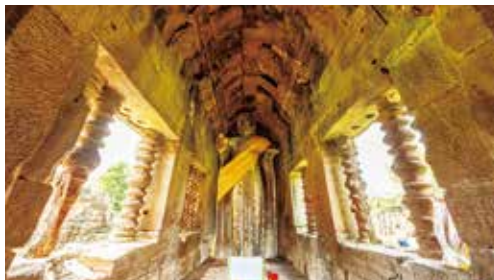
カオヤイ国立公園

Khao Yai National Park

タイで初めて国立公園として認定。園内は高低差約20mのヘーウ・ナロックをはじめ数多くの滝、野生の象やトラ、サイチョウなどの希少な鳥類や蝶など600種以上が生息していることで有名。公園内の滝へのネイチャートレイルやトレッキング、バードウォッチングのほか、公園管理事務所が主催するナイトサファリも人気があります。

※詳しくは世界遺産ページ(P24)へ

開8:00~18:00(毎日) 料大人400B、子ども200B



パノムワン遺跡

Phanom Wan

ナコーンラーチャシーマーから東へ16kmと市内から最も近い場所に位置する11世紀に建てられた古代寺院。最初はヒンドゥー教のシヴァ神を祀っていましたが、アユタヤ王朝の時代に仏教寺院へと改宗されています。2001年に修復工事が完成し、遺跡でありながら現在も仏教寺院として地元の人々に親しまれています。

開7:00~17:30 料50B

ファームチョークチャイ

Farm Chokchai

ナコーンラーチャシーマーから西へ約100km。動物の餌やりやポニー乗馬体験、搾乳体験など動物と触れ合うことができる酪農場。場内にはハンバーガーやステーキが食べられるレストラン、アイスクリームや牛乳など乳製品、お土産を販売するショップもあります。有料ゾーンあり。

開平日9:30~16:30、土日祝9:00~17:00 料無料



パクトンチャイ・シルク村

Pak Thong Chai Silk Village

パクトンチャイは、タイシルクの特産地として全国的に知られる町で、ここから全国各県へ大量にシルク製品が出荷されています。世界的に高い評価を得ている幾何学模様の手織り絹布「マットミー」は王妃による手厚い保護を受けています。

開8:00~18:00 料無料



ワット・バーンライ

Wat Ban Rai

仏教徒から深い尊敬を集める僧侶、ルアンポー・クーンへの厚い信仰心によって建立されました。敷地内には、絵が描かれた2,000万枚を超えるタイルで美しく飾られたウボソット(神聖な儀式などを執り行う礼拝堂)、ナーガの導きの先にはラーマ9世の生誕84年を記念して水辺に建てられた、象をモチーフにしたホールがあります。

開8:00~17:00 料無料



セーブワン・ナイトマーケット

Saveone Night Market

タイ国内最大級のナイトマーケット。広大な敷地には、屋外フリーマーケットゾーン、ストリートフードゾーン、屋内フードコートゾーンに分かれており、雑貨、洋服、食品、美容サービスなどさまざまな商品が並んでいます。中はシャトルバスが巡回するほどの広いマーケットです。

開17:00~22:00 料無料



ダーン・クイアン陶芸村

Dan Kwian Pottery Village

市街地から南に約14km離れた場所にあり、約250年前、高度な文明を築いた先住民のモン族がこの地に移住して陶芸を始めました。焼物作りに長けた彼らは、伸びが良く粒子が細かい良質な土と、近くを流れるムーン川の水質に目をつけました。今や全国的に有名な、街道筋の両側には、陶器の店が所狭しと並んでいます。

開8:30~16:30 料無料

グランモンテ・アソーク・バレー

GranMonte Asoke Valley

フランスとオーストラリアでワインの醸造技術を学んだオーナーの一人娘ニッキー氏が醸造責任者のアットホームなワイナリー。国際ワイン大会で何度も受賞歴があり、ナコーンラーチャシーマー県の地理的表示商品(GI商品)としても世界的に評価されています。試飲付きワイナリー見学ツアーは、タイ国政府観光庁のアグロツーリズム賞を3年連続で受賞しており、今やタイのワインツーリズムを牽引する存在です。

開8:00~20:00 料大人450B、子ども350B



PBバレー・カオヤイ・ワイナリー

PB Valley Khao Yai Winery

カオヤイの山々に囲まれた約400haの広大な場所に1998年タイ初のワイナリー「カオヤイ」としてスタート。イタリアやオーストラリアでの品評会で賞を受賞。タイワインが注目されるきっかけになったワイナリーです。ワインと共に食事ができるレストランがあり、醸造までの過程の見学や試飲ができるツアーも開催されています。

開9:00~20:00 料大人350B、子ども300B

ターオ・スラーナリー記念碑

The Memorial Monument of Thao Suranari

コラート(現ナコーンラーチャシーマー県)は、領主がバンコクに出かけていた留守中に、現在のラオスから侵略を受けます。その時に活躍したのがモエ夫人。ラーマ3世に功績を称えられ「ターオ・スラーナリー」の称号を与えられました。タイの一般庶民の女性として初の記念碑。彼女の慈悲深い精神と勇敢さは尊敬され、参拝者は合格祈願や開運、心願成就を祈願します。





Buriram
南イサーン

ブリーラム県



パノムルン歴史公園 Phanom Rung Historical Park



パノムルンとはクメール語で「大きな丘」の意味。石畳の長い参道を登り詰めた丘の上の境内から見下ろすと、眼下に農村地帯が広がり晴天時にはカンボジアとの国境にあるドンラック山脈がおぼろげに見えます。天文学的な計算に基づいて設計されており、高度な建築技術を誇ります。「光の道」現象が特徴で、春分の日と秋分の日前後に日の光が寺院の入り口を通してまっすぐに射し込む様子が見られます。この現象は年に4回、日の出と日の入りの両方で確認できます。

開 6:00～18:00(毎日) 料 100B

ムアンタム遺跡 Prasat Muang Tam



11世紀に建設されたバプーオン様式の寺院。装飾には砂岩でできたテラコッタタイルが使用され、回廊内のL字型の池には五頭ナーガの彫刻が刻まれています。

開 9:00～17:00 料 100B



チャン・アリーナ Chang Arena

タイを代表するサッカーチーム「ブリーラム・ユナイテッド」のホームスタジアム。収容人数3万2600人の4階建ての建物。オフィシャルグッズを販売しているショップやVIPの観戦ルームも完備され、試合のない日はスタジアム見学も可能。

開 9:00～17:00 料 大人100B、子ども80B



Surin
南イサーン

スリン県



バーン・タークラン・エレファントビレッジ Ban TaKlang Elephant Village

タークラン村のクアイ族の人々は、象使いのスキルに長け、象と家族のように暮らしてきました。スリン県はティアム・チョクワタナ財団と協力して象の持続的な保護と地域経済の発展を目指すプロジェクト「エレファント・ワールド」を設立しました。また、2024年9月には「スリン象博物館」が完成し、象との触れ合いだけでなく、象と人間との共生の歴史や象に関連する文化、伝統を紹介しています。

開 8:30～16:30 料 100B(博物館100B)

11月
スリン象まつり
巻末イベントカレンダー



シーコーラプム城 Prasat Sikhoraphum



高さ約30mの5つの仏塔から成る11世紀後半に建てられたクメール遺跡。11～12世紀のアンコールワット時代に続いたバプーオン時代の芸術に影響を受けた古代クメール芸術様式で建てられ、最高神であるシヴァ神を敬うヒンドゥー教シヴァ派の礼拝所でした。その後17世紀から18世紀にかけて、上座部仏教寺院に改宗されました。

開 7:30～18:00 料 50B



Si Saket
南イサーン

シーサケート県



カオプラウィハーン国立公園 (カオプラウィハーン遺跡)



Khao Phra Viharn National Park (Khao Phra Viharn Ruins)

タイとカンボジアの国境沿いにあり、タイで83番目の国立公園に指定。

※2013年以降、タイ側ゲートは閉鎖しています。詳しくは「国立公園」ページ(P24)

開 8:00～17:00 料 大人200B、子ども100B



パー・モーイデー Pha Mo I Daeng



眼下にカンボジア領の広大な平原と森林が広がる絶壁。向かいの山頂に建つカオプラウィハーン遺跡を臨めます。絶壁沿いの階段を下りていくと岸壁に11世紀中頃に彫られたという3体の仏像を見ることができます。

開 8:00～17:00(毎日) 料 大人400B、子ども200B

バンコクから 約9時間
約540km 約10時間



バーン・カオシナリン・シルバービレッジ Ban Khwao Sinarin Silver Village

この村では、地域特有の「Luk Pak Kuem」(ルーク・パクアム)という丸い形の金や銀に薬をつけた、花柄などさまざまな模様のプレスレットやベルト、ネックレス、イヤリングなど美しいアクセサリに仕上げます。特にこのシルバービレッジのプレスレットは有名で、人気があります。コレクターがタイ全土にいるほどで、独自のデザインを注文して、オリジナルの銀製品に仕上げてもらえるのも可能。事前予約でジュエリー作りの実演を見学できます。

開 8:00～16:00 料 無料



バーン・プルアン城 Prasat Hin Ban Phluang



東に面した大きな長方形の赤土の基礎に建つ、1つの正面扉と3つの装飾扉があるブラサート(城)。U字の堀に囲まれていて近くに大きな貯水池(タイ語でバライ)があることから、この地域は古代の集落跡地だったと考えられています。城は半分しか残っていませんが、その周りの石の彫刻の職人技は精巧で美しく見ごたえがあります。

開 8:00～18:00 料 50B



Ubon Ratchathani

南イサーン

ウボンラーチャターニー県

バンコクから

約630km

約1時間

約11時間

約10時間



サム・パン・ボーク

Sam Phan Bok

タイのグランド・キャニオンとも呼ばれるサム・パン・ボークは「3000個の穴」という意味。メコン川の浸食により変形した雄大な河床の岩盤は、メコン川が乾期の時に現れます。浸食された数々の穴はさまざまな形で、犬の頭や星、亀などに見えます。景観を楽しむのはもちろん、岩盤を登れるほか、メコン川のクルーズでは川沿いのラオスやタイの人々の日常生活を垣間見ることができます。周辺には、イサーン料理のレストランや宿泊施設のコテージもあります。

🕒 ベストシーズンは乾期(12~5月頃) 📄 無料



ワット・プラタート・ノンブア

Wat Phra That Nong Bua

仏教誕生2500周年の記念として1957年に建てられたこの寺院は、東北地方で唯一のインド様式を取り入れた寺院。ピラミッド型の仏塔には仏教にまつわる神話が描かれています。インドのブッダガヤの大仏塔をモデルにして建立された高さ57m、幅17mの立派な仏塔です。ライトアップ時は仏塔が美しく金色に輝きます。

🕒 8:00~16:00 📄 無料



パーテーム国立公園

Pha Taem National Park

岩盤と森林に覆われた高原に広がる340km²もの広さを持つ自然公園です。断崖の上から見下ろすメコン川流域の景観は絶景で、岩の平原一面にさまざまな植物が花を咲かせます。公園入り口近くにそびえ立つキノコ型の岩は、表面に貝殻の化石が張り付いていて、古生代はここが海面下だったことがわかります。一番の見どころは断崖絶壁に描かれた壁画で、3000~4000年前の人々の生活を表したものが300以上発見されています。

🕒 6:00~18:00 📄 大人200B、子ども100B



ワット・サープラ・サンスック

Wat Sa Pra Sansuk

ほとんどの建物が陶磁器で作られている寺院。入り口の巨大な船は、昔、王と女王がジャバヤ川を下るときの船を再現しており、町の名物となっています。

🕒 8:30~16:30(毎日) 参拝自由

7月

キャンドル・フェスティバル

📅 巻末イベントカレンダー



ケータナ国立公園

Kaeng Tana National Park

タイ33番目の国立公園で、クメール語で「巖」という意味。その広大な面積は80km²、海拔200m、最高地はバンタッド山頂の海拔543mです。メコン川とムン川の豊かな自然に囲まれた美しい国立公園で、キャンプロジも完備され、近年ではエコツアーなども盛んです。入り口正面には「Tana Rapids」(死の岩棚)と呼ばれる入り江があり、険しく切り立った岩底とその間に密生する木々のため、古代は多くの船がここで沈没したと言われます。休憩所には世界最大の石造りのテーブルとイスが設置されています。

🕒 7:00~18:00(毎日) 📄 大人100B、子ども50B



ウボンラーチャターニー国立博物館

Ubon Ratchathani National Museum

1918年に建設された1階建ての建物で、かつては市庁舎として使用されていました。その後、芸術局によってウボンラーチャターニー国立博物館となりました。博物館では、この都市の地理や歴史、芸術、考古学の証拠である古代の遺物、地元の手工芸品、伝統的な遊び、そして歴代知事が使用していた器具などの展示が行われています。この博物館の建物は、1989年に王室後援のタイ建築士協会から芸術と建築の保存に関する優秀建物賞を受賞し、2001年には芸術局によって旧跡として指定・登録されました。

🕒 9:00~16:00(月・火および 祝祭日閉館)

📄 大人100B

メコン川クルーズ

Mekong River Cruise

ナコーンパノムで自然の美しさを体感できる見逃せないアクティビティの一つ。川の周辺に住む人々の生活風景も見ることができます。



ワット・シリントーン・ワララム・プープラオ

Wat Sirindhorn Wararam Phu Prao

本堂の裏の壁にある神話の「ガラパブルック木」と呼ばれる神の木の彫刻は、日没後になると不思議と輝きはじめ、幻想的な雰囲気を醸し出します。また、寺院は見晴らしのいい丘の上にあるため、メコン川とラオスの景色や美しい夕日が見られる人気のスポットとしても知られています。

🕒 6:00~21:00 参拝自由



チョンメック・ボーダー(タイ~ラオス国境)

Chong Mek Border

唯一の地続きのラオス国境。人とモノが集まる国境沿いに広がる市場は魅力的な見どころとなっています。バクセーはラオスの元首都で古代クメール遺跡プラサートヒン・ワット・プーが有名です。その他、メコン川の川幅が7kmにも及ぶシータンドン合流点、リーピー滝、コンパベン滝なども見どころです。

📄 イミグレーションオフィス 🕒 8:00~18:00

コラム

タイ東北部の伝統歌謡モークラム

イサーン地方やラオスに伝わる伝統歌謡、モークラム。モークラムとは「語りの達人」という意味で、伝統楽器の笛「ケーン」で奏でる旋律



に即興的な歌詞をつけて伝説や愛、時には政治についても歌います。結婚式や祭りなどの場で歌われてきましたが、現在ではポップスの一ジャンルとして、新スタイルのモークラムに人気があります。



Yasothon
南イサーン

ヤソートン県

バンコクから
約530km 約8時間



パヤー・カンカーク博物館

Phaya Khan Khak Museum



トゥアン貯水池があるパヤーテン公園内に位置し、ビル5階建てに匹敵する高さの巨大なカエルの形をした建物です。中には、パヤー・カンカーク(巨大カエル)とパヤー・テン(イサーンの神)の戦いの物語を展示。後にロケット祭り(ブン・パンファイ)の起源となったものです。また、カエルの種に関する生物学的データや、ヒットシップソン(イサーンの12の功徳を積む伝統)についても紹介されています。巨大カエルの口からヤソートンの街並みや湖畔の景色を楽しめます。

開10:00~16:00 休火 料大人40B



ワット・マハタート

Wat Mahathat



ヤソートン市内では最も大きな寺院。ラオスとの関係も深いブラ・ブッダ・ブッサラヤート仏は通称ブラ・ケオヤナムとして親しまれ、瞑想姿の坐像でチェンセン様式、膝幅1.9m。ヤソートンの古代シンボルでラマ3世王より初代県知事に贈られたものです。

開8:00~16:00 参拝自由

5月

ブン・パンファイ

巻末イベントカレンダー



Chaiyaphum
南イサーン

チャイプーム県

バンコクから
約430km 約4時間
約5時間



サイ・トーン国立公園

Sai Thong National Park



面積約138km²のパン・フーイ山脈を有するサイ・トーン国立公園。見所は、公園管理事務所から約1kmのところにあるサイ・トーン滝で、滝の落差は100mです。他にも県花のタイ語で「ドーク・グラチャオ」、英語で「サイアムチューリップ」と呼ばれるピンクの花は、毎年6月から8月までが見頃です。綺麗な自然の景色と自然が作った珍しい形状の奇岩も必見です。

開8:30~16:30 料大人200B、子ども100B

7月

グラジャオ花祭り

巻末イベントカレンダー



パーヒンガム国立公園

Pa Hin Ngam National Park



標高約200~800mの山々が連なる国立公園。西側には、数百万年前の氷河や風雨の浸食などによってできた珍しい形状の岩々が広範囲に点在するラン・ヒンガム、北へ約2km行くと、タイの北部、中央部そして東北部の境目となっている断崖絶壁のパンフーイ山があります。またラン・ヒンガムとパンフーイ山までの道には、タイのチューリップ、グラチャオ花の群生が咲き誇る野原が広がります。ベストシーズンはこのタイ・チューリップが満開になる6~8月で、グラチャオ祭りなども同時開催されています。

開7:00~17:30 料大人200B、子ども100B



Amnat Charoen
南イサーン

アムナートチャルーン県

バンコクから
約540km 約9時間
約10時間



ブッダ・ウッタヤン公園とプラ・モンコン・ミンムアン仏像(通称ブラ・ヤイ)

The Buddha Uthayan & Phra Mongkhon Ming Mueang
市街地の北方3km。岩や石の装飾、豊かに茂ったさまざまな草木が美しい公園。悪を征した姿勢のプラ・モンコン・ミンムアン仏像(通称ブラ・ヤイ)は膝幅11m、高さ20m。本来、幅8.4m、長さ12.6m、高さ5.2mだったのを1965年に修復し、金箔装飾が施されました。後ろに配された2体の仏像とともに東北地方の護り仏として崇拝されています。

開6:00~17:00 料無料



ワット・タム・セーン・ペット

Wat Tham Saeng Phet



巨大な砂岩の平原に位置するこの寺院には、祠(ほこら)、仏塔、巨大な涅槃(ねはん)像があり、神殿の北側には、美しい仏像を収めた大きな洞窟があります。

開7:30~17:00 料無料

1月

ブン・クーン・ラーン祭り

巻末イベントカレンダー



タートン国立公園

Tat Ton National Park



公園はプー・ランカー山脈の一部で総面積約217km²。見どころはタットン滝、チャオポー・タットン祠(別名プー・ドゥアン)、パーイアン滝、パーソンチャン滝、パーニット滝など。市役所の北方21kmの国道2051号線沿いです。

開8:30~17:30 料大人200B、子ども100B



ワット・パースカト(スカト寺)

Wat Pa Sukato



このお寺は、タイに出家した日本人の僧侶がいることでも知られており、日本からも多くの瞑想を希望する人が訪れます。土地を耕すことさえもせず、自然や動物、地球と共生して過ごします。日常の邪念から解放され、自分を見つめ直すきっかけとなり、真のデトックスを体験することができます。

開8:30~16:30 参拝自由



Udon Thani
北イサーン

ウドンターニー県

バンコクから 約1時間
約560km 約9.5時間
約10時間



タレー・ブア・デー (紅い睡蓮の海)

Red Lotus Sea (A Lake of Pink Water Lilies)

ウドンターニー市内から南東へ約43km、クンパウィー郡のほぼ中央に、紅い睡蓮の海(タレー・ブア・デー/正式名:ノーンハーン)と名づけられた総面積約36km²の広大な湖が広がっています。12月から2月にかけての早朝、水面が睡蓮の花で埋め尽くされ、その名の通り湖が紅く染まる幻想的な景色を見ることができます。1月半ばにはタレー・ブア・デーのお祭りが催され、東北部ならではの民謡音楽ポーラーンの演奏をはじめ、ムエタイやセバクタクローの試合などで、賑やかなひと時を迎えます。満開の時期には、ボートで湖を周遊することも可能です。

開6:00~17:00 無料 ツアー・予約方法はHP参照

バンチェン遺跡(バンチェン国立博物館)

Ban Chiang (Ban Chiang National Museum)

ウドンターニー市内から東へ50km。紀元前2500年から2000年さかのぼる戦時時代の貴重な遺跡です。バンチェンの古代遺跡は、1992年世界文化遺産に登録されています。※詳しくは世界遺産ページ(P24)へ

開9:00~16:00 料150B



バーン・ナカ・シルク村

Ban Na Kha Silk Village

イサーン地方の「キット」と呼ばれる織物が有名な村。特徴的な織物は、幾何学模様やダイヤモンド格子、微小な横糸錦織が美しい名品です。村では郷土で織られた布地が比較的廉価で購入できます。

開8:00~18:00



プー・プラ・バート歴史公園

Phu Phra Bat Historical Park

公園内では、浸食作用によって自然にできたキノコ型の奇岩や、岩肌に赤い塗料で描かれた人物や牛などの壁画を見ることができます。2024年7月27日に世界文化遺産に登録されています。

※詳しくは世界遺産ページ(P24)へ

開8:00~16:30 料30B

ノーンプラジャック公園

Nong Prajak Park

ウドンターニーの中心部にある市民の憩いの場。緑豊かな人工湖には、巨大なアヒルの家族のオブジェが浮かび、SNSを通して口コミで広がったことでフ



オトスポットとして人気になりました。ピクニックやサイクリングを楽しめます。毎年2月にジャズ・フェスティバル、11月には灯ろう流しで有名なロイクラトン祭りが開催されます。

開5:00~20:00

ワット・カムチャノート

Wat Khamchanot

ウドンターニー中心部から北に80kmにある寺院。イサーンの人々が信仰する精霊が暮らしているとされる森の中に位置し、湖岸から100m余りの橋を渡って境内に入ります。境内は土足厳禁で、靴を脱いでから橋を渡ります。寺院のそばにある池は7つの頭を持つナーガ(蛇の精霊、蛇神)が暮らす水底に繋がっていると信じられており、タイ有数のパワースポットとして知られています。

開8:00~16:30 参拝自由



Kalasin
北イサーン

カラシン県

バンコクから 約7.5時間
約520km



プー・クムカオの恐竜化石(シリントーン博物館)

Dinosaur Fossils at Phu Khum Khao (Sirindhorn Museum)

カラシン市内から約30km、東南アジアで最大かつ最も展示内容の充実した自然博物館で、恐竜以外にも地球の誕生と宇宙、生物の進化と人類の誕生などについて展示しています。化石調査の研究室もあり、運が良ければ研究者の作業を間近で見られることもできます。この地で発見された新種の大型恐竜として認められた「プーウィアンゴザウルス」のほぼ全身に及ぶ骨格標本や、実際の化石発掘現場をそのまま保存展示しているエリアはこの博物館のハイライトです。自然史に造詣の深いタイのシリントーン王女の御名をいただくこの博物館は、2014年に日本の福井県立恐竜博物館と姉妹博物館提携を結び、共同研究や展示品交流などを行っています。

開9:30~16:30 休月 料大人100B、子ども70B



バーンポン・プレーワー・シルク織物センター

Ban Phon Phrae Wa Silk Weaving Group

この織物センターは、タイ東部の少数民族プータイ族の美しい手織りシルクで有名です。この貴重な手工芸技術は、タイ国民の母として敬愛されているシリキット王太后から高い称賛を得ています。

開8:30~16:30 無料



ワット・プー・カオ

Wat Phu Kao

サハットサカン区から7kmにある自然に囲まれた静かで落ち着いた寺院です。ここに、祀られている黄金の涅槃像は通常と違い左側を下にしている大変珍しいものです。

開6:00~18:00 参拝自由



プラタート・ヤーク

Phra That Yaku

この地域で、戦後唯一残るクメール式の仏塔。周囲に建つ石柱には仏教の教えや逸話が彫られています。毎年4月には雨の恵みを願う儀式が行われます。市街から約20km。

開8:30~16:30 参拝自由

プーフェーク森林公園(恐竜の足跡)

Phu Faek Forest Park



公園内には、大型肉食恐竜の足跡が7つ見つかり、そのうちの4つははっきりと確認することができます。この足跡は、森林公園をピクニック中の親子が岩の上の不思議な

足跡のようなものを偶然発見し、これを調査した結果、約1億4千万年前の恐竜の足跡であることが分かりました。

開8:00~18:00 料無料



Roi Et

北イサーン

ローイエット県

バンコクから 約8時間
約510km 約8時間

プラ・マハ・チェディ・チャイ・モンコン

Phra Maha Chedi Chai Mongkhon

白を基調とし黄金の装飾が施されている仏塔は、ローイエット県の名前の意味である「101」を用い、横、縦、高さはすべて101mになっています。6階建ての仏塔は、タイの中央部と東北部の建築様式が混在し、4階からはローイエット県の風景を眺められます。最上階には仏舍利が納められています。塔の内部は天国をイメージしたきらびやかな装飾が施されています。

開8:00～17:30 参拝自由

ローイエット・タワー

Roi Et Tower

県のシンボルである湖、ブン・プラーン・チャイのほとりに建てられた高さ101m、35階建てのタワー。伝統楽器ウオートをデザインし、地元の人々に「ウオート・タワー」の愛称で親しまれています。28～34階がローイエットを見渡せる展望スポットです。

開9:00～19:00 料50B



ワット・プラチャーコム・ワナラーム(ワット・パークン)

Wat Prachakhom Wanaram (Wat Pakung)

タイで最初に造られた天然の砂岩仏塔。高さ約19m、幅約40m、仏塔の上部は約1.5kgの純金が使われています。塔内は5層に分けられ、壁にはお釈迦様の物語や僧侶の肖像画などが刻まれています。寺院を建立したルアン・プー・シーマハーウィーローは、瞑想において東北地方で有名な高僧で、インドネシアのジャワ島ボロブドゥール寺院遺跡の感銘を受けて1992年に塔を建設しました。毎年5月1～3日にルアン・プー・シーの記念式典が開催されています。

開8:00～18:00 参拝自由



Mukda Han

北イサーン

ムックダーハーン県

バンコクから 約10時間
約640km

ワット・ローイ・プラ・プッタバート・プー・マノーロム

Wat Roi Phra Phutthabat Phu Manorom

プー(山の意)・マノーロムという山の上に建つ寺院。寺院の敷地内にはラーマ9世御生誕84周年記念に建立された高さ84mの白色の大きな仏像があり、仏教の悪神であるマーラを鎮圧する姿勢をとっています。この寺院の大きな特徴は、インド神話に登場し、ヒンドゥー教にも縁がある蛇神、巨大な「ナーガ」が設置されていること。青い巨大なナーガ像は全長122m、高さ20mで、鱗一枚一枚まで緻密に造られたその曲線美は圧巻です。

開8:00～18:00 参拝自由



ムックダーハーン～サワンナケート(タイ～ラオス国境)

Mukdahan-Suwannakhet

メコン川を挟んだラオスのサワンナケートとの交易の町として栄えてきました。周辺に建つマーケットには、ラオスやベトナム、カンボジアなどからの品々も売られていて、物品の買い付けに来たラオスの人々が賑わっています。ラオスへの入国に関しては、日本人は15日以内の滞在ならビザは不要です(変更になる事もありますので、ラオス大使館にお尋ねください)。

開6:00～22:00 料02-539-6667



Nong Khai

北イサーン

ノンカーイ県

バンコクから 約10時間
約520km 約12時間

ワット・ポーチャイ

Wat Pho Chai

ノンカーイを代表し、最も信仰を集める寺院で、人気の観光スポット。ラオスのランサーン王朝の流れをくむご本尊が有名で、寺院内の壁画には、ご本尊の由来などが丁寧に描かれています。かつてメコン川に沈んだご本尊を懸命の捜索の末に無事発見し、再び納めたと伝えられています。

開6:30～17:30 参拝自由



ワット・パープーゴーン

Wat Pa Phu Kon

ルーイ県とノンカーイ県、ウドンターニー県の県境にある寺院。バームソーン国立公園とパーナーユーン国立公園に囲まれた緑豊かな山頂に位置し、周囲の環境を保全する役割を果たしている珍しい寺院です。鮮やかな瑠璃色の屋根が印象的な本堂には、白い大理石で造られた長さ約20mの美しい涅槃像が祀られています。

開8:30～17:00 参拝自由

タイ・ラオス友好橋

Thai - Lao Friendship Bridge

メコン川に1994年に完成したタイ(ノンカーイ)とラオス(ビエンチャン)を結ぶ長さ1174mの国境の橋。ラオス・ビエンチャンの見どころは、ワット・スィームアン、ワット・プラタートルアン、ワット・シーサケートなどの寺院のほか、パトゥーサイ・モニュメント(ラオス凱旋門)、ローカル・マーケットなど。2国間を結ぶ国際旅客鉄道が2024年7月に運行開始。

イミグレーションオフィス 開6:00～22:00



サラ・ケオ・グー(ワット・ケーク)

Sala Kaeo Ku

20世紀のラオスの宗教家ブンア氏によって造られた庭園。園内は、仏教とヒンズー教を混在させた宗教観を具現化した仏像やモニュメントが所狭しと並んでおり、寺院とは異なった一種独特の雰囲気が漂っています。

開8:00～18:00 料40B



ワット・パータックスア・スカイウォーク

Wat Pa Tak Suea Skywalk

タイ語で、パー=崖、タックスア=洗濯を干す、の意味。托鉢に出かけた僧侶たちの袈裟が汗だらけになっているため、すぐに洗濯をして袈裟を干していた光景から、その名が付いたとされます。2016年に町を一望するスカイウォークが境内に設置され、絶景が楽しめる人気。足元が透明の床になっていて、ちょっとしたスリルを味わえます。メコン川の向こうにラオスの国土が広がるパノラマの景色を見渡せます。

開8:30～16:30 料20B





Nakhon Phanom
北イサーン

ナコーンパノム県

バンコクから 約75分
約750km 約12時間



ワット・プラタート・パノム・ウォラマハウィハーン Wat Phra That Phanom Woramahawihan

先端に黄金の飾りを持つ57の仏塔がこの地域のシンボル。お釈迦様の肋骨を安置しているとも言われているだけに、この寺院に対する地元の人々の信仰様はひときわ厚く、塔を回りながら祈りを捧げる姿を見ることが出来ます。1~2月にかけては7日7晩の祭りも開かれます。

開8:00~18:00 参拝自由



ワット・マハタート・ナコーンパノム Wat Mahathat Nakhon Phanom

メコン川沿いに建つラオス式寺院。早朝5時半頃から寺院前のメコン川沿いで托鉢が行われ、近隣の住民たちが僧侶への喜捨をし観光客も参加できます。メコン川の向こう、ラオス側から昇る朝日を拝む神聖な体験は、清々しい朝の始まりとともに印象深い旅の思い出となります。

開10:00~19:00 参拝自由



Nong Bua Lamphu
北イサーン

ノンブアランプー県

バンコクから 約9時間
約560km



タム・エラワン(エラワン洞窟) Tham Erawan (Erawan Cave)

ルーイ県との県境にあるプー・パータム・チャー(象の岩山)と呼ばれる山の中にあり、遠くから見ると山全体が象が伏せているように見えるのが特徴です。麓から洞窟の入り口まで600段の階段を上ります。

開8:30~16:30 参拝自由

ワット・タム・クロンペン Wat Tham Khlong Paen

市街からウドンターニー方面へ約13km。森林に囲まれた静かな寺院。敷地内にある洞窟には寺院の名前の由来ともなった古代の2面太鼓があり、岩壁のくぼみに彫刻のような仏像が納められています。寺院は1989年に亡くなるまでルアン・プーカオ高僧の瞑想の地でした。高僧の身の周り品やロウで模した高僧を収めた博物館もあります。

開8:00~18:00 参拝自由

バーン・コン・サワン陶器村 Ban Khong Sawan Pottery Village

伝統的な製法で作られた素焼陶器や素焼製品が有名で、村周辺や路肩などで売られています。ノーンタンという集落にあるこの村は、ノンブアランプー郡から約17km、ノンブアランプー県からウドンターニーに向かう高速210号線を北上した場所にあります。

開8:00~17:00



Loei
北イサーン

ルーイ県

バンコクから 約75分
約750km 約12時間



ワット・パーファイラー Wat Pa Huay Lad

1995年に建立された寺院で、入り口に鎮座する真っ白な観音像があり、内部には樹齢200年ほどの大樹が納められており、パワースポットとしても知られています。本堂は、約2000人を収容できるほどの大空間が広がり、前方には白い仏像が祀られていて圧巻。

開16:00~22:00 参拝自由

プー・クラドゥン国立公園 Phu Kradueng National Park

コラート高原の北西に位置し、標高1200m余り、切り株のような形が特徴的な山です。周囲は自然豊かな国立公園で、ワン・クワーンほかいくつもの美しい滝を見ることが出来ます。山頂では、松林に囲まれたアノーガード池、象や鹿などの野生動物もやってくるケオ池、雲海から昇る朝日を観る絶景ポイント、パー・ノックエーンなどが見どころ。最低気温が0~10℃前後に下がる12~1月の期間には、トレッキングやバード・ウォッチングの愛好家が賑わいます。

開6:00~13:00 大人200B、子ども100B
※6月1日から9月30日まで閉鎖

ワット・シーポーチャイ Wat Sri Pho Chai

500年以上の歴史があり、その建築はアカタヤ、ランサーン(ラオス)、中国芸術の影響を受けています。寺院の内部には、何千もの仏像が回廊に祀られ、壁画もあります。また、毎年4月のタイ正月に大規模なフラワーパレードフェスティバルが開かれ、ユニークな功德の行列で祝います。

開8:00~17:00 参拝自由



ワット・ソムデット・プールア・ミンムアン Wat Somdet Phu Ruea Ming Muang

タイでは珍しくチーク材を全面に用いた仏教寺院。ラーマ9世(プミポン前国王)の母であるシーナカリン王太后による支援を受けて2010年に建立され、現在ではルーイ県を代表する寺院です。本堂の仏像は、エメラルド鉱石を用いて造られているのが特徴です。周囲を豊かな森に囲まれている環境から、瞑想の場としての役割も果たしています。

開9:00~17:00 参拝自由

チェンカーン・ウォーキング・ストリート Chiang Khan Walking street

メコン川沿いにゲストハウスやレストラン、カフェ、ショップが並びチェンカーンの目抜き通り。夕方からはローカルフードの屋台などが軒を連ね、多くの人で賑わいます。イサーン地方の伝統的な建築様式とラオスの建築様式が融合した木造の建物が並び、のんびり楽しむことができます。

開16:00~22:00

チェンカーン・スカイウォーク Chiang Kharn Skywalk

タイとラオスの国境にある展望台で地上80m、歩道の幅2m、全長80m。透明なガラス製でスリル満点、中心部には巨大な仏像もあります。展望台の真ん中辺りからは右側のメコン川と左側からのファン川の流れが合流している様子が分かります。

開7:00~18:00 料60B



Khon Kaen
北イサーン

コーンケン県

バンコクから 約1時間
約450km 約7時間
約8時間



ワット・ノン・ウェン (プラ・マハタート・ケン・ナコン)

Wat Nong Waeng (Phra Mahathat Kaen Nakhon)
1789年に建立された寺院で、仏塔の扉や窓にはかつてのブッダの生まれ変わりや世界が見えるブラフマーの16種類の神々、仏教の儀式が美しく刻まれており、壁には街の歴史が描かれています。敷地内にある9階建ての仏塔からは街の美しいパノラマの景色を楽しむことができます。1981年には模範寺院として、1983年には優秀寺院として表彰され、1984年には王室寺院に格上げされました。

開8:00~17:00 参拝自由

サラ・マイ・タイ

Sala Mai Thai
シリキット王太后生誕60年記念プロジェクトの一環として1992年8月12日にオープン。シリキット王太后はタイ東北地方のシルクプロモーションに尽力してきました。アジア・シルク・アワードを受賞した高価なタイ東北部の伝統絹織物「マットミー」も展示しています。

開8:30~16:30 休水



Sakon Nakhon
北イサーン

サコンナコン県

バンコクから 約70分
約450km 約11時間

プラ・タート・チュン・チュム



約2千年もの歴史を持つ、王室守護寺院で4つの仏が祀られています。蓮のつぼみを形どった24mの白い仏塔が特徴的でひととき目を引きまします。

開8:00~18:00 参拝自由



ワット・チャイシー

Wat Chaisi
お堂の壁に美しく施された芸術的な壁画が有名。20世紀初頭に建てられ、イサーンの人々の間で語り継がれてきた物語が藍色と金色で描かれています。村人の心の拠り所となっています。寺院では、笙のような笛ケーンをはじめとする伝統楽器を使った演奏やユニークな歌とダンス「モアラム」も見学できます(要事前予約)。

開043-448-350 開8:00~17:00 参拝自由

プーウィアン国立公園と恐竜博物館

Phu Wiang National Park & Dinosaur Museum
約1億3千年前と考えられる恐竜化石や足跡化石などがタイで最初に発見されたのがこのプーウィアン国立公園内でした。国立公園から約3km離れた「プーウィアン恐竜博物館」では、恐竜の骨格のほか、恐竜の実物大のジオラマを展示しています。

国立公園 開8:00~16:30 料大人200B、子ども100B
博物館 開9:30~16:30 休月、祝 料大人60B、子ども30B



プラ・タート・ナライ・チェン・ウェン



10~11世紀のクメール王妃ナライ・チェン・ウェンによって建てられた、最も完璧な形を残しているクメール式の建造物の一つです。

開7:00~18:00 参拝自由



Maha Sarakham
北イサーン

マハーサーラカム県

バンコクから 約8時間
約480km



プラタート・ナードゥーン

Phra That Na Dun
ブッダの遺物が奉納されている県内の寺の中で最も厚い信仰を得ています。境内には仏教関連博物館や植物園なども設けられており、仏教行事の際には、地域の人々が大勢集まる中心的な宗教施設です。

開8:00~18:00 参拝自由



コーサンピ森林公園

Kosamphi Forest Park
1976年に設立され、50エーカーの公園には、ゴムの木、サルスベリなど大きな樹木や自然の池が美しい森林公園。

開8:00~18:00 料無料



Bueng Kan
北イサーン

ブーンカーン県

バンコクから 約11時間
約750km



プー・シン・ヒン・サム・ワーン(3頭のクジラ岩)

Phu Sing Hin Sam Wan
国立保護林区に位置し、カラ熱帯雨林、プーシン森林、ドンシーチョンプー森林と合わせ約1920万㎡の面積があり、南北に横たわる砂岩の山が特徴的な地形です。ヒン・サム・ワーン:別名スリーウェール・シェーブストーン(3頭の親子クジラが泳いでいるように見える岩)では、同じ場所から夕日と日の出の両方を見ることができます。

開6:00~18:00 料無料



ワット・プートーク

Wat Phu Thok
プートークとは、イサーンの方言で「孤立した山」を意味します。僧侶のチュアン・クンラチュートーが、この静かな地を瞑想の場として1969年に寺院を建立しました。寺院へは、砂岩を囲む木製の橋を登って歩いて行きます。プートーク山頂へ続く階段は、悟りの世界へと導かれる「徳の道」を象徴しています。山頂への階段は7つの階層に分かれ、ハイライトはプートーク・ノイの5階層目にある小さな寺と洞窟です。

開7:00~17:30 参拝自由

クメール遺跡を訪ねて

～イサーン南部石造神殿～



イサーン南部あるいはコラート高原は、カンボジアと国境を接するムン川とドンラック山に囲まれた地域。2000年以上前に人が居住した痕跡が発見されています。かつてこの地域は「上部クメール」と呼ばれ、ドンラック山に隔てられた現在のカンボジアである「下部クメール」と区別されていました。この2地域の人々の通行、通信は当時より、40以上の峠を通じて行われていました。当時往来があったことはピマーイ遺跡からアンコールワットへとつながる戦場に共通の文化と生活様式が見られることから容易に判明します。

アンコール朝の諸王はシヴァ神信仰という王家の宗教を背景にし、その神々の聖地をカンボジアの地に再現しようと都城や大伽藍を造り続けました。その中には普遍的で崇高な祈りと、魂の救済に対する憧れ、王権永続の願いが込められています。クメールの建築様式はヒンドゥー教の宇宙観に基づいて、建築装飾とその配置すべてに象徴的な意味が含まれています。堀は宇宙の大海、周囲の壁は山々、聖堂の塔は世界神秘の中枢「須弥山(しゅみせん)」を象徴しています。

石造神殿設営の理由

石造神殿はクメール文化の特徴をなしている考古学的遺跡。王の現存神あるいはシヴァ、ヴィシュヌ、ブラフマーなどのヒンドゥー神としての王=神説に基づき、クメールの王たちは神殿を神聖な住居として建造しました。

タイでは石造神殿は6世紀頃から建造され始め、イサーン南部の石造神殿はクメール王朝と関係をなした強力な支配者の力を示しています。神殿を中心に、人、物が集まり、都市ができ、クメール文化は発展していきました。

また水を集め貯蔵する場所(バライBaray)も作られました。今日でも水源として利用され続けている貯蔵所が、ムアンタム寺院のように重要な水源でした。石造神殿と貯蔵所は10~12世紀頃のコミュニティの生活に欠かせないものでした。

ほとんどの古代クメール建築の基礎には赤土が使われ、建築には曲線の装飾を施した砂岩でできています。一部の建物はレンガ作りですが、大半はやわらかく彫刻しやすい砂岩が使われています。

石造建築物の特徴と種類

古代のクメール建築はその用途により、3つに分類できます。

● Stone Sanctuary

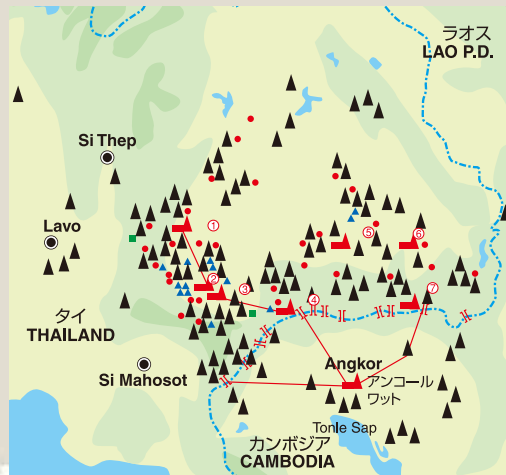
石造神殿にはおもに寺院を指し、たとえばブラサート・タムアントム(Prasat Ta Mueang Thom)のように儀式を執り行う場所として通常大規模な石造となっています。

● Arogaysala (Kuti Ruesi)

アロガヤサラー(クティ・ルースィー)と呼ばれる、地域のけが人や病人、心と体のケアを必要とする人たちのための施設。例としてブラサート・タムアントム(Prasat Tamueang Tot)があげられます。この種類の建造物の特徴は、「癒し手を示す水の入った器を持った瞑想姿勢の仏像(Phra Bhaisajayaguruvaithourayaphra)」が奥に収められています。

● Dharmasala (House of Fire)

タマサラー(炎の家)は旅人がアンコールからピマーイまでの道中、立ち寄り明かりの家。例としてブラサート・タムアンがあげられます。



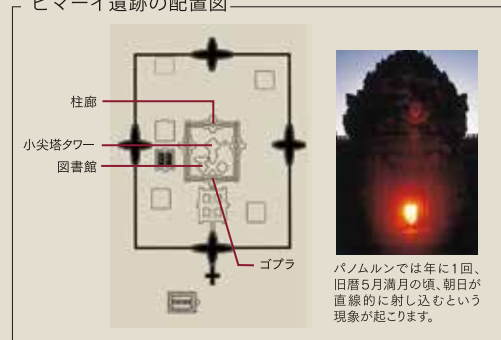
- 大石造神殿 Grand Stone Sanctuary
- ① ブラサート・ピマーイ Prasat Phimai
- ② ブラサート・パノムルン Prasat Phanom Rung
- ③ ブラサート・ムアンタム Prasat Mueang Tam
- ④ ブラサート・タムアン遺跡群 Prasat Ta Mueang Group
- ⑤ ブラサート・スィーコラプム Prasat Si Khoraphum
- ⑥ ブラサート・サーカムベンヤイ Prasat Sa Kamphaeng Yai
- ⑦ ブラサート・プラウィハン Prasat Phra Wihan
- ▲ 石造神殿 Stone Sanctuary
- アロガヤサラー Arogaysala
- ▲ タマサラー Dharmasala
- 採石場 Stone Quarry

石造神殿の見どころ

神殿の最も重要な部分は通常スタッコ(飾り漆喰)または石の彫刻デザインで装飾された主塔です。最も尊重すべき彫像が収められた主塔の中の部屋の装飾図案のパティメントやまぐさ(*)を見ることによってその神殿の宗派を知ることができます。例えばパノムルンでは一番内側のまぐさはシヴァとの関連を示しヒンドゥー教のシヴァ神の寺院と推測できます。ピマーイの殿堂にはシヴァのナトラジャの彫刻が施されたパティメントがあり、中央の部屋の中の4つのまぐさにはマハヤナ仏教(大乘仏教)様式の仏像が見られ、このことから仏教神殿ということがわかります。またピマーイは一方でシヴァを讃える碑文があり、もう一方では仏を讃えるものがあったりと、宗教の混和はクメール石造神殿にはよく見られます。

(*) = 窓や出入り口などの上に渡した水平材

ピマーイ遺跡の配置図



石造神殿見学のヒント

見学のスタートは正門から。どの分派に属するかを知る主要な彫刻がある最重要ポイントです。また、ほとんどの神殿は東向き。例外はピマーイとタムアントムで、カンボジアのアンコールから続く道に向かって南向き。カオプラビハーンは立地する山の形のため北向き。

柱廊の戸口「コブラ」をぐぐり抜けると主塔への道へ続きます。ほとんどのレリーフは外に多いので塔の周りを時計回りに歩き、外から眺めてみましょう。双眼鏡があれば上部の装飾もはっきり見ることができます。神殿では、装飾のいかなる部分にも触れたり、印を付けたり、傷つけないように十分注意してください。また、象の上に登ったり座ったりするのも厳禁です。



石造神殿・建築様式の変遷

- A.D.600
- ◆ プレイ・クメン様式 Prei Khmeng Style
 - ブラサート・フボムン Prasat Phumpon(スリン県)
- 700
- ◆ バケン様式 Bakheng Style
 - パノムワン Phnom Wan(ナコンラチャシマ県/コラート)
- 800
- ◆ コーケー様式 Koh Ker Style
 - ブラサート・ノンクー Prasat Non Ku(ナコンラチャシマ県/コラート)
 - ブラサート・ムアンケーク Prasat Mueang Khaek(ナコンラチャシマ県/コラート)
 - ブラサート・ソンシンチャイ Prasat Son Sin Chai(スリン県)
- 900
- ◆ クレーン様式 Khleang Style
 - ブラサート・ムアンタム Prasat Mueang Tam(プリラム県)
 - ブラサート・パノムルン Prasat Phnom Rung(プリラム県)
 - ブラサート・サーカムベンヤイ Prasat Sa Kamphaeng Yai(シーサケット県)
- ◆ バンテアイ・スレイ様式 Banteay Srei Style
 - ブラサート・バンマイ Prasat Ban Mai(プリラム県)
 - タイチャルン Thai Chareon(プリラム県)
- ◆ パプオーン様式 Baphuon Style
 - ブラサート・ピマーイ Prasat Pimai(ナコンラチャシマ県/コラート)
 - ブラサート・パノムワン Prasat Phnom Wan(ナコンラチャシマ県/コラート)
 - ブラサート・バンブルオン Prasat Ban Phluong(スリン県)
 - ブラサート・タムアントム Prasat Ta Mueang Thom(スリン県)
 - ブラサート・プラウィハン Prasat Phra Wihan(シーサケット県)
- 1,000
- ◆ アンコールワット様式 Angkor Wat Style
 - ブラサート・パノムルン Prasat Phnom Rung(プリラム県)
 - ブラサート・スィーコラプム Prasat Si Khoraphum(スリン県)
 - ブラサート・ヤインガオ Prasat Yai Ngao(スリン県)
- 1,100
- ◆ バイオン様式 Bayon Style
 - クティ・ルースィー・ピマーイ Kuti Ruesi Pimai(ナコンラチャシマ県/コラート)
 - クティ・ルースィー・コックムアン Kuti Ruesi Khok Mueang(プリラム県)
 - ブラサート・タムアン Prasat Ta Mueang(スリン県)
 - ブラサート・タムアントム Prasat Ta Mueang Tot(スリン県)
 - ブラサート・コックンガオ Prasat Khok Ngeo(スリン県)
 - ブラサート・サーカムベン Prasat Sa Kamphaeng(シーサケット県)
- 1,200

イサーンのグルメ

イサーン地方の味のポイントは塩漬けの塩味と辛さ、そして酸味が強いことです。

タイ料理は、地域によって個性が異なります。イサーンの料理は、外国の人にも大変人気が高く、「ミシュランガイド・タイランド」にも地域のレストランが多数選出されています。

代表的な料理

カオニャオ (蒸したもち米)

イサーンの主食は蒸したもち米(カオニャオ)で、竹製のもち米入れ「クラテップ」に入っています。指で丸めながら食します。



ガイヤーン(炭火焼き鶏)

イサーン料理店に必ずあるメニュー。鶏肉をナンブラー、唐辛子、ニンニク、パクチーの根、タイの醤油「シーユカオ」などをブレンドしたタレに漬けて炭火で焼いた料理です。付けるソースは大きく分けて2種類。酸味がある「ナムチュムジェオ」とスイートチリソースの「ナムチュムガイ」です。

カイガダ(タイ式目玉焼き)

イサーン地方では、朝食にカイガダ(タイ式目玉焼き)を食べるのが定番。目玉焼きの上に豚のひき肉やニンジンのみじん切り、この地方の甘いソーセージ「クンチェン」、タイのハム「ムーヨー」などの具材をのせます。お店ではアルミの小さなフライパンで提供される名物です。

ソムタム(青パイアのサラダ)

イサーンの方言でソム=酸っぱい、タム=叩く。ソムタムを注文すると、青パイアを調味料、干しエビ、トマトなどと一緒にぼックボックと軽快な音をたてながら叩く姿を見ることができます。酸味は生のマナオ(ライム)やトマトから。塩味はプラーラー、もしくはナンブラー。甘味は砂糖やバームシュガーで味付けします。

ラープ(煎り米入りスパイシーサラダ)

細かく刻んだ肉類をハーブ類と調味料で味付け。日本で見かけるラープにはひき肉だけを入れている場合が多いですが、本場では肉の脂肪分、皮、内臓なども入れ、場合によっては動物の血を混ぜます。ナンブラーやマナオのほか、お米を煎って細粒にしたカオクアを入れるのが特徴。カオクアは香ばしさとプチプチとした食感でハーブとともに肉の生臭さを消してくれます。



イサーンの発酵食品 プラーラー(パラ)

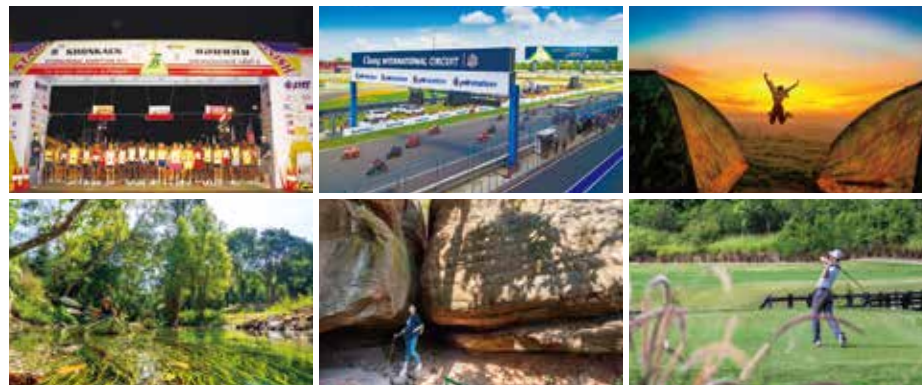
タイ料理に欠かせない調味料の筆頭には発酵魚醤の「ナンブラー」が挙げられますが、イサーン地方ではそのほかに発酵した魚と米から作られた、ペースト状のプラーラー(パラ)を使います。

イサーン各地の
グルメはここから



アクティビティ

イサーン地方はタイの国土面積の3分の1を占めています。国立公園も多く、その立地を生かしたスポーツも盛んです。国際的なマラソン大会、ウルトラトレイル大会のほか、プリーラム県にあるチャンアリーナでは二輪ロードレース最高峰のMotoGP世界選手権シリーズも開催されています。他にも気軽に参加できるトレッキングやネイチャートレイルなどのエコツアーも盛んです。また、このエリアのゴルフコースは、広大な敷地に自然を取り込んだ高低差のあるレイアウトが特徴です。



マウンテンリゾート

山が多いイサーンエリアの特徴を生かした滞在型宿泊施設が多く、カオヤイ国立公園(ナコーンラーチャーシーマー県)周辺や「タイの軽井沢」と称されるエリアには近年高級リゾートホテルが数多く開発されています。国立公園内にテントや簡易宿泊施設を設けた場所もあります。



マウンテンリゾートに
ついてはここから



イサーンのホテル情報に
ついてはここから



エコツーリズム
イサーンの
コミュニティベースド・ツーリズム
(Community Based Tourism=CBT)

ナコーンラーチャーシーマー県

バーン・プラサート・タイ・コミュニティ
Ban Prasat Tai Community



全国の地域社会に収入を分散させ、地域住民の生活の質を高め、タイの文化や伝統を保存し、天然資源の保護および国の観光産業全体の持続可能性を促進することを目的とした観光形態。

タイ東北部の中で最も古く最大の遺跡を有するナコーンラーチャーシーマー県で先史時代の考古学文明のルーツについて学べます。

体験できる内容

1. キャッスルハウス博物館でバーン・プラサート村の起源と先史時代のコミュニティについて学ぶ
2. プラサート川沿いの古代の知恵を通して、植物繊維から手工芸品がどのように作られるかを学ぶ
3. コラート名産「マットミーシルク」の織物を見学
4. 村の聖域「サーンプーターじいさんの祠」を参拝
5. 村のクラウンフラワー農園を見学
6. バーン・プラサート考古学センターで先史時代の発掘現場を見学
7. 「愛を叫ぶ橋」タコーンラック橋を散歩
8. ご当地焼きそば「ミー・コラート」料理教室

エコツアーについては
こちらから



SHOPPING

工芸・名産品

イサーンの工芸品や名産品は、産地で直接購入できるほか、各地のマーケットでショッピングできます。

マットミー

南イサーンのナコーンラーチャーシーマー県のパクトンチャイは、この村に代々伝わり世界的にも高い評価を得ている幾何学模様の手織り絹布「マットミー」の特産地として知られています。

クラーム染め

北イサーンにあるサコンナコーン県の伝統工芸、クラーム染め。マメ科の植物を使用した天然色素「クラーム」を発酵させて石灰などと混ぜ合わせた液で、美しいインディゴブルーの色合いに染め上げます。デザイン性が高く涼しげなアイテムをそろえる専門店も人気です。

銀細工・鋳造

バーン・カオシナリン・シルバービレッジは、南イサーンのスリン県にある銀細工で有名な村です。この地域特有の「Luk Pak Kuem」(ルーク・パクアム)という丸い形の金や銀に薬をつけ、花柄など多彩な模様のプレスレットやベルト、ネックレス、イヤリングなど美しいアクセサリーに仕上げます。ウボンラーチャーニー県にはラオスから移住してきた人々の村では昔ながらの技法で真鍮のカウベルや食器、仏具を作り続けています。



東北部の特産品はここから



イサーンの
世界遺産

ウドンターニー県

世界文化遺産/1992年登録
バンチェンの古代遺跡

Ban Chiang

推定紀元前5600年頃～1800年頃にさかのぼる先史時代の貴重な遺跡で、1992年に世界文化遺産に登録されました。バンチェンの人々は、国陶、文様陶器、彩色陶器という3つの時代に分けられる稲作・農耕文化をもち、陶器技術も発達したといわれています。ここでは、展示のほかに遺跡が発掘された状態を保存した遺構を見学することもできます。また、隣接するバンチェン国立博物館では、1960～70年代の発掘当時に既存の人類史を覆す大発見と世界中の注目を集めた貴重な出土品が展示されていて、あわせて見学することができます。



タイにはユネスコ世界遺産7つ(うち文化遺産4つ、自然遺産3つ)と4つのユネスコ無形文化遺産の登録があります。これらは人類にとって普遍的価値がある場所として過去から受け継ぎ、次世代に受け継ぐため保護されています。イサーン地方には自然遺産として「カオヤイ国立公園」が、文化遺産として「バンチェンの古代遺跡」が登録されています。

世界文化遺産/2005年登録
カオヤイ国立公園

(正式名称:ドン・パヤーン・カオ・ヤイ森林群)

Khao Yai National Park
(Dong Phrayayen-Khao Yai Forest Complex)

タイ初の国立公園で、ナコーンラーチャーシーマー県、プラーチンブリー県、サラブリー県の4県にまたがり、総面積約2,168km²を誇ります。カオヤイとはタイ語で「大きな山」という意味で、面積の85%が森林に覆われ約95種の樹木から成ります。園内は数多くの滝や野生の象やトラ、希少なサイチョウなどの鳥類や希少な蝶など600種以上が生息しています。園内のハイキング道ではさまざまな動植物を観察しながら散策ができます。つる植物や種類豊かな菌、膨大な数のイチジクの樹、藤、ヤシなどのほか、運が良ければ野生のゾウやトラにも遭遇できます。その他絶滅の危機に瀕した哺乳動物が生息するタイ国内でも数少ない地区の一つです。また、美しく希少な野鳥が生息し、バードウォッチング・スポットとしても人気です。



カオヤイ国立公園で観察できる鳥の情報「バードウォッチング・ガイド」はここから



シーサケート県

カオプラウィハーン国立公園

Khao Phra Viharn National Park

シーサケート県とウボンラーチャーニー県にまたがる、130km²超の面積を有するドンラック山脈の高い崖と緑豊かな森林の上にあります。1998年3月20日にタイで83番目の国立公園に指定されました。

この国立公園には、常緑樹林、フタバガキの混合林、落葉フタバガキ林が生息していて、野生の豚、ホエジカ属などの鹿、ウサギ、リス、テナガザル、ジャコウネコなど、二国間を行き来する数多くの野生動物の生息地にもなっています。見どころは、国立公園の北東部にある絶景が見事な「パー・モーイデー」。タイとカンボジアの国境に位置する赤みを帯びた岩の崖で、広大な隣国カンボジアの森と聖域であるブレアヴィヒアのパノラマの景色を眺めることができます。赤い砂岩の崖に浅浮き彫りで彫られた彫刻は、クメール様式の3人の神が描かれています。また、西側には地元の人々に「プラタート」と呼ばれている



立方体で上部が丸みを帯びた形の二重の仏塔があります。仏塔には、その時代の繁栄を表すものが納められています。

イサーンの国立公園の情報はここから



INFORMATION

旅の基礎知識



気候

タイの季節は乾期(11月～3月)、暑期(4月～5月)、雨期(6月～10月)の3シーズンに分けられます。乾期は降雨も少なく、空は青く晴れ渡り気温も心地よく観光に適したシーズンだと言えるでしょう。雨期はモンスーンの影響を受けやすく天候が不安定になります。いずれのシーズンも最高気温が30度を越す熱帯に属しますので、通気性の高い衣類や、帽子、サングラスなどの用意も忘れずに。また東北地方は高地が多く、冷え込むこともありますので、薄手の上着などを持参すると良いでしょう。



服装

一年を通して日差しが強く、高温多湿の気候なので、通気性の良い服装をおすすめします。ただしレストランなどでは、エアコンが効きすぎているところがありますので注意してください。また敬虔な仏教国であるタイでは、寺院は神聖なる信仰の場所です。参拝するときは、節度ある服装を心がけてください。



飲み水

水道水など生水は避け、飲料水を購入してください。



喫煙マナー

レストランを含む冷房のきいた建物内ではスモークエリアを除き禁煙となっています。違反は2,000バーツの罰金。またバンコクでは路上へのタバコの吸い殻やゴミのポイ捨て、ツバを吐くことも処罰の対象になっています。最高2,000バーツの罰金。



電気



電圧は変圧220V、50HzでプラグはA、BF、Cタイプ。ドライヤーやシェーバーなど日本の電化製品を使用の場合はプラグ・アダプター・キットを携帯されることをおすすめします。



両替・銀行

タイ・バーツ(Baht)は変動相場性をとっていますので、両替レートが毎日変化します。(2024年11月現在約4.5円)



VAT 免税手続き(VAT)

タイへの旅行者は、タイ国内において、同日同一店で購入した合計2,000バーツ以上の買物について7%の税金(Value-Added Tax)分を帰国時に空港で払い戻してもらうことができます。払い戻しを受けるためには「VAT REFUND FOR TOURIST」の表示のあるお店で購入し、購入時に必要事項を書類に記入します。空港のVAT窓口でチェックイン前にその書類で申請を行ってください。詳しい手続きについてはタイ国政府観光庁日本語ホームページをご覧ください。

<https://www.thailandtravel.or.jp/about/leave/>



パスポート&ビザについて

タイ入国後60日(59泊60日)以内の観光目的の滞在の場合、日付の入ったFIXの往復航空券を保持していればビザ無しで入国できますが、国際規定よりパスポートの残存期間は6ヶ月以上と定められています。60日以上滞を予定されている方、あるいは観光目的以外で入国される方は事前にタイ王国大使館・領事館においてビザを取得してください。また航空会社によりパスポート残存期間の規定が異なるため、ご利用になる航空会社にお問い合わせください。

- 在日タイ王国大使館 VISA課
TEL 03-5789-2449 www.thaiembassy.jp
- タイ王国大阪総領事館
TEL 06-6262-9226 www.thaiconsulate.jp
- タイ王国福岡総領事館
TEL 092-686-8775 www.thaiembassy.org/fukuoka



いざという時に

病院

食習慣や気候の違い、また旅先での緊張や疲れなどで体調が崩れた時は、迷わず病院に行きましょう。

- ナコーンラーチャーシーマー県(コラート)
- バンコク病院(ラーチャーシーマー)

Bangkok Hospital Ratchasima
1308/9 Mittrapap Road, A. Muang
TEL 044-429-999 ext. 4441, 4444

- ウボンラーチャターニー県
- サンパシットプラソン病院

Sunpasitthiprasong Hospital
<タイ語・英語・ラオス語>
122 Sappasit Rd., Mueang Ubon Ratchathani District
TEL 045-244-973

- ウドーンターニー県
- エークウドーン・インターナショナル病院

Aekudon International Hospital
555/5 Posri Rd., Amphoe Muang
TEL 042-342-555 www.aekudon.com

- コーンケン県
- コーンケンラム病院

Khon Kaen Ram Hospital
193 Srichan Road Muang Khonkaen
TEL 043-002-002 www.khonkaenram.com

- ナコーンパノム県
- ナコーンパノム病院

Nakhon Phanom Hospital
<タイ語>
Aphibanbuncha Rd., Amphoe Muang
TEL 042-199-222



いざという時に

ツーリスト・ポリス

外国人観光旅行者の安全を図るために、ツーリスト・ポリスが特別に設けられており、「Tourist Police」という肩章を付けています。観光地にはツーリスト・ポリスの警察署や派出所が設けられており、英語を話すことができますので、トラブルが発生した場合は連絡しましょう。ツーリスト・ポリスセンター 局番なし 1155
ドムアン空港内 TEL 02-535-1155
スワンナプーム空港課 TEL 02-287-3101
www.touristpolice.go.th/en

その他

●在タイ日本国大使館領事部
177 Witthayu Road, Lumpini, Pathum Wan, Bangkok 10330
TEL 02-207-8800/02-696-3000
邦人援護 TEL 02-207-8502/02-696-3002
日本大使館 www.th.emb-japan.go.jp

●イミグレーション(入国管理局) ※ビザ延長など
Immigration Division1
Government Centre Chaeng Wattana Building
B, Nr 120, Moo 3, Chaeng Wattana Rd., Soi 7,
Tung Song Hong Sundistrict, Laksi, Bangkok
TEL 02-287-3101～10

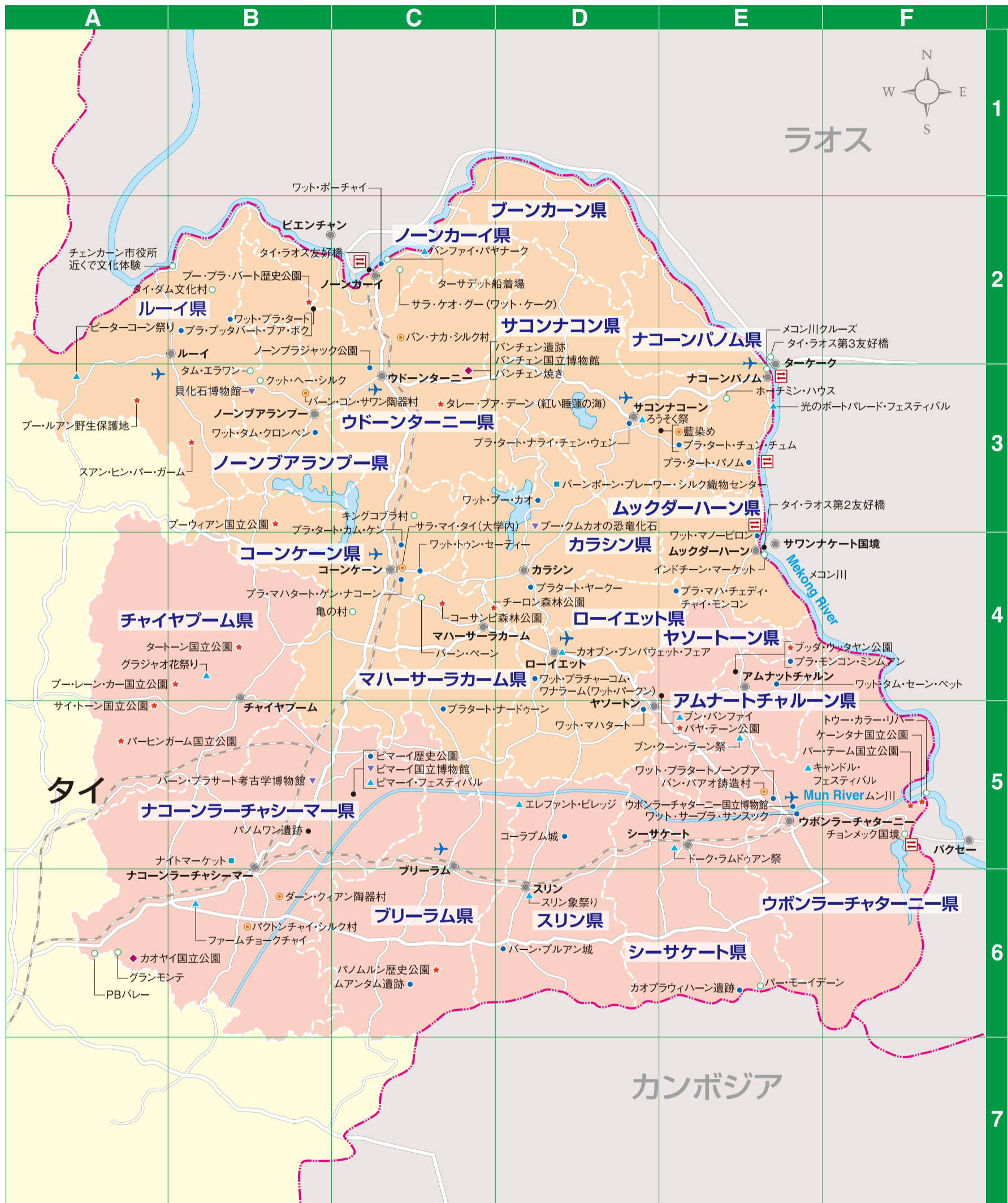
●その他
警察 局番なし 191
火事 局番なし 199
救急車 各大型病院へ連絡

●電話のかけ方
タイ国内で電話をかける場合：
市内、市外を問わず 0から始まる9ケタの数字を
日本からタイへ電話をかける場合：
(タイの国番号) 66+ (0を除いた) 8ケタの数字を
ダイヤルしてください。

ラオスへの入国について

- タイ・ラオス友好の橋(ノンカーイ)
 - チョンメック
 - ムックダーハーン
 - チェンコーン
 - ナコーンパノム
- 日本国籍の方は15日以内の渡航なら、観光・ビジネス(業務)共にラオス入国にビザ(VISA)不要(2024年9月現在)

ラオスへ入国に関してはラオス大使館までおたずねください。
TEL 02-539-3642
laoembassybangkok.gov.la



本誌掲載内容は予告することなく変更する場合があります。予めご了承ください。

- ✈ 空港
- 県庁所在地
- 主な道路
- 鉄道
- 🏠 イミグレーション
- 遺跡・寺院
- ★ 自然・国立公園
- 🏡 伝統工芸
- その他の見所
- ▲ 祭りとイベント
- 🏠 お土産
- 🍽 食事
- 🏛 博物館
- ◆ 世界遺産

Event Calendar イベントカレンダー

1月
JANUARY

コーンケン国際マラソン

- 中旬
- コーンケン県 MAP B-4



学園都市として栄えるこの街は恐竜の化石や古代文明遺跡など見どころ満載。コラートの大地を駆け抜けるマラソン大会。東北地方の温かい人々の支援を受けながら走れます。

ブン・クーン・ラーン祭り

- 米の収穫時期による
- イサーン各地 MAP D-2



東北地方におけるポーソップという米の神様に収穫を感謝するための行事。2月に実施する地域もあります。

3月
MARCH

カオブン・ブンパウェット・フェア

- 第1金・土・日曜
- ローイエット県 MAP D-4



ブン・バラン・チャイ湖で行われる仏教得度式。僧侶による説法のほか、パレード、郷土芸能、東北スタイルのヌードル「カオブン」を味わう祭り。

ドーク・ラムドゥアン祭

- 中旬
- シーサケート県 MAP E-6



ラムドゥアン（ホワイトチーズウッド）の花の祭り。シーサケート県はタイで唯一5万本の巨木が自然に生育しています。4部族のパフォーマンスや写真展、屋台や地元のOTOP（一村一品）商品を買うことができます。

4月
APRIL

パノムルン・フェスティバル

- 初旬
- ブリーラム県 MAP C-6



アンコールワット様式で建てられたパノムルン神殿には、15の扉があり、その全ての扉が太陽の進路に沿って配置され年に4回、日の出または日の入りの間に15の扉全てに太陽光が当たる現象が見られます。4月初旬に祭りが開かれ、パレード（初日のみ）のほか、地元の物産や料理が並ぶ露天が出て賑わいます。

5月
MAY

ブン・バンファイ（ロケット祭り）

- 中旬
- ヤソートーン県 MAP E-4



豊かな雨を乞う儀式。バンファイは東北弁で「空へ打ち放す砲撃能力が充てんされた竹」を意味します。毎年50~60本のロケットが打ち上げられ、ロケットが空高く上がれば、雨に恵まれ五穀豊穡をもたらすと伝わっています。

6月
JUNE

ピーターコーン祭り

- 下旬または7月初旬
- ルーイ県 MAP A-2



毎年6~7月頃に開かれる、有名な仏教説話をもとにした、収穫前の雨乞いや厄払いの祭り。「ピー」=霊、「ター」=目、「コーン」=仮面劇という意味で、祭りのハイライトとなるパレードでは、人々が巨大で派手なお面とカラフルな衣装をまとって精霊になりきり、イサーン地方の音楽に合わせて街を踊り歩きます。

7月
JULY

キャンドル・フェスティバル

- 下旬~8月上旬
- ウボンラーチャターニー県 MAP F-6



全ての仏教僧が寺院からの外出を禁止されるカオ・パンサー（安居入り）の時期、郷土職人が制作した工芸品の蜜蝋キャンドルを寺院に奉納します。祭り期間中は、大小さまざまなサイズや形の精緻な彫刻を施した蜜蝋キャンドルのパレードが開催されます。

グラジャオ花祭り

- 6~8月
- チャイヤブーム県 MAP B-4



パー・ヒンガム国立公園で、毎年6~8月のシーズンに開催。公園は100万年以上の間に自然に造形された奇岩が美しいロックガーデンで、白、緑、ピンクがかかった紫色をした一面のグラジャオ花畑や、チャイヤブーム県の特産物などが楽しめます。

10月
OCTOBER

光のボートパレード・フェスティバル（ライルアファイ）

- 下旬
- ナコーンパノム県 MAP E-2



毎年10月の満月の夜、安居の終わり頃開催。ブッダが安居を終え、地上に戻ったことを祝う祭り。「ワン・チャオロック（ブッダが世界に恵みをもたらした日）」とも呼ばれ、ボートを美しく電飾して敬意を表します。メコン川ではドラゴン・ボートレースが開催され、数百の光で飾られた竹製のボートのパレードも圧巻。

バンファイ・パヤナーク（龍神の火の玉祭り）

- 10月のオークパンサー（出安居）
- ノーンカーイ県 MAP C-2



陰暦の11月の満月の夜、メコン川で起こる自然現象が見もの。地元の人々の間では「バンファイ・パヤナーク（龍神の火の玉）」と呼ばれ、卵ほどの大きさのピンクがかかった光の玉が川面から上空へ浮かび上がります。期間中はメコン川での光のボート鑑賞をはじめ、文化ショーなども同時開催。

11月
NOVEMBER

スリン・エレファント・ラウンドアップ・ショー

- 中旬
- スリン県 MAP D-6



タイ全土から集結する200頭を超える象が織りなす壮観な祭り。カラフルに化粧した象のパレード、象と人との綱引き、サッカー、お絵かき、丸太運びなど、古くから象と深く関わり生活を共にしてきたスリンの村ならではの生活を知ることができます。

ピマーイ・フェスティバル

- 上旬
- ナコーンラーチャシーマー県 MAP B-4



ピマーイ遺跡を舞台にした、古代クメール帝国の栄華を描いた歴史劇を壮観な光と音で表現したショーを展開。伝統的なロングボートレースやピマーイにまつわる展示会、コンテストなどさまざまな催しも同時開催。



タイ国政府観光庁

- バンコク(ヘッドオフィス1階・インフォメーションカウンター) 毎日8:30~16:30
1600 New Phetchaburi Rd., Makkasan. Ratchathewi, Bangkok 10400
TEL:02-250-5500 ✉enter@tat.or.th TATコールセンター 局番なし(24時間対応) 1672
- スワンナプーム国際空港(インフォメーションカウンター) 毎日24時間
到着階(2階)③番付近
TEL:021-340-040



タレー・ブア・デーン(紅い睡蓮の海)

ナコンラーチャシーマーオフィス
(ナコンラーチャーシーマー、チャイヤブーム)
2102-2104 Mitraphap Road, Tambon Nai Mueang, Amphoe
Mueang, Nakhon Ratchasima 30000
Tel 044-213-030,666
E-mail:tatsima@tat.or.th

ウボンラーチャターニーオフィス
(ウボンラーチャターニー、アムナートチャルーン、ヤソートン、シーサケート)
264/1 Khuenthanai Road, Amphoe Mueang, Ubon Ratchathani 34000
Tel 045-243-770,250-714
E-mail:tatubon@tat.or.th

ルーイオフィス
(ルーイ、ノンブアランブー)
District Office (Old building) Charoenrat Road, Tambon Kut
Pong, Amphoe Mueang, Loei 42000
Tel 042-812-812,811-405
E-mail:tatloeil@tat.or.th

ナコンパノムオフィス
(ナコンパノム、サコンナコーン、ムックダハーン)
184/1 Suntornvijit Road, Tambon Nai Mueang, Amphoe
Mueang, Nakhon Phanom 48000
Tel 042-513-490~1
E-mail:tatphnom@tat.or.th

スリンオフィス
(スリン)
355/3-6 Thessaban Road 1, Tambon Nai Mueang , Amphoe
Mueang, Surin 32000
Tel 044-514-447~8
E-mail:tatsurin@tat.or.th

ウドンターニーオフィス
(ウドンターニー、ノンカーイ、ブンカーン)
16/5 Mukmontri Road , Tambon Makkheng, Amphoe Mueang,
Udon Thani 41000
Tel 042-325-406~7
E-mail:ttatudon@tat.or.th

コーンケンオフィス
(コーンケン、ローイエット、マハーサーラカム、カラシン)
205, 85 Glang Muang Rd, Tambon Nai Mueang, Mueang Khon Kaen 40000
Tel 043-227-714
E-mail:tatkhn@tat.or.th

ブリーラムオフィス
(ブリーラム)
Boonsiri Home7, 674/15-16, Tambon I San, Amphoe Mueang,
Buri Ram 3100
Tel 044-634-722
E-mail:tatburiram@tat.or.th

■東京事務所
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館2階
TEL (03)3218-0355 FAX (03)3218-0655
info@tattky.com

■大阪事務所
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-4-26 四ツ橋グランドビル
TEL (06)6543-6654,6655 FAX (06)6543-6660
info@tatosa.com

■福岡事務所
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1 博多マリバレインイーストサイト11階
TEL (092)260-9308 FAX (092)260-8181
info@tatfuk.com

詳しくは「タイ国政府観光庁」を検索

(日本語)
www.thailandtravel.or.jp
(英語)
www.tourismthailand.org



ソーシャルメディアでタイの魅力を発信中

